厚生労働行政推進調査事業費補助金
（ 政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業））

匿名レセプト情報等を用いた被保護者の健康課題に関する実態把握と効果的な疾病予防・重症化予防等に資する研究（25AA2005）

令和 7 年度　総括研究報告書

研究代表者　明神　大也
（浜松医科大学　健康社会医学講座）

令和8（ 2026 ）年 5 月

（令和７年度報告書　目次）

目　　次

Ⅰ．総括研究報告

１．匿名レセプト情報等を用いた被保護者の健康課題に関する実態把握と
効果的な 疾病予防・重症化予防等に資する研究

---------- 1

明神大也、今村知明、山﨑一幸

II．研究成果の刊行に関する一覧表

著　者 ---------- 29

論文発表 ---------- 29

令和 7 年度厚生労働行政推進調査事業費補助金
（政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業））
「匿名レセプト情報等を用いた被保護者の健康課題に関する実態把握と
効果的な疾病予防・重症化予防等に資する研究」
総括研究報告書（令和 7 年度）

匿名レセプト情報等を用いた被保護者の健康課題に関する実態把握と効果的な疾病予防・重症化予防等に資する研究

研究代表者　明神　大也（浜松医科大学　健康社会医学講座）
研究分担者　今村　知明（奈良県立医科大学　公衆衛生学講座）
研究分担者　山﨑　一幸（奈良県立医科大学　公衆衛生学講座）

研究要旨

背景と目的：生活保護制度における自立助長の基盤として、生活保護受給者（以下「被保護者」）の健康保持は極めて重要である。現在、医療扶助費は生活保護費の約半分を占めており、限られたリソースの中で効果的な疾病予防・重症化予防や適切な受診勧奨を行うことが求められている。本研究は、匿名医療保険等関連情報データベース（NDB）を用いて被保護者の受療状況を詳細に分析し、優先的な健康課題を明らかにすることで、医療扶助の適正化に資するエビデンスを構築することを目的とする。

方法：2015 年度から 2024 年度の医療扶助レセプトを含む NDB 特別抽出データの提供を受け、分析基盤を構築した。本格的な解析に先立ち、初年度は第 10 回 NDB オープンデータを用いて、医療扶助を含む「全額公費レセプト」の算定状況を探索的に調査した。具体的には、医科診療行為および処方薬を対象に、全額公費による算定・処方割合が 20%以上のコードを抽出し、診療科や薬効分類別の傾向を網羅的に分析した。

結果と考察：外来診療では「精神科専門療法」が対象コードの 54.6%を占め、特に精神科訪問看護や通院精神療法に集中していた。入院でも精神科専門療法の割合が相対的に高かった。処方薬についても、内服・注射ともに「精神神経用剤」や「催眠鎮静剤、抗不安剤」が突出しており、全額公費レセプトにおいて精神科医療が大きな比重を占める実態が示唆された。また、在宅時医学総合管理料などの在宅医療関連の算定も一定数確認された。これらの結果は、長期かつ継続的な医療を要する領域が全額公費レセプトの主な特徴であることを示している。今後の分析では、精神疾患の有病状況や処方の継続性を患者属性と組み合わせて検討する必要がある。

結論：今年度のオープンデータ分析により、詳細分析に向けた基礎資料が得られた。今後は受領した特別抽出データを用い、対象を医療扶助受給者に絞った患者追跡分析や地域差の集計を実施する予定である。これにより、被保護者の具体的な健康課題を特定し、実効性の高い保健事業の策定や医療扶助の適正実施に寄与することを目指す。

研究協力者

川田　加奈子（浜松医科大学）　　次橋　幸男（奈良県立医科大学）

A．背景と目的

生活保護制度は、最低限度の生活の保障とともに自立の助長を図ることを目的としている。生活保護受給者（以下「被保護者」という。）は様々な課題を抱えて保護受給に至っている中、制度の目的である自立助長を図る基礎として、健康状態を良好に保つことは大変重要である。そのためには、被保護者の健康課題を明らかにしつつ、疾病予防・重症化予防や適切な受診勧奨など効果的な介入・保健指導を行う必要がある。また、生活保護費の約半分が医療扶助費であるところ、健康課題への対応を強化することで医療扶助の適正実施に資することとなり、ひいては制度の信頼性を担保することにもつながるものと考えられる。

これまで、医療保険（国民健康保険や後期高齢者医療制度等）に係る保健事業等の実施動向を踏まえつつ、被保護者の健康課題に対応する取組が実施されてきているが、今後は、実施機関である福祉事務所のリソースも勘案の上、多様な保健事業等の取組の中でも、より必要性が高い取組や効果的な取組等に重点化していく観点も不可欠となる。

以上の背景を踏まえ、本研究においては被保護者の健康課題に対応する取組の強化に向け、匿名医療保険等関連情報データベース（NDB）を用い、被保護者の保健医療に関する情報（疾病動向や受療状況等）をより詳細に把握し、属性情報を分析することを目的とする。そして新たな取組方策の検討も含め、優先的に取り組むべき課題を明らかにすることとし、被保護者の健康増進ひいては医療扶助の適正実施に資するエビデンス構築を行うこと目指す。

B．研究方法

本研究では、主にNDB特別抽出データを用いて分析を行うが、データ提供までに時間を要する。そのため、１年目の本年度はNDB第三者提供の申出を行うとともに、NDBオープンデータを用いて全額公費レセプトの算定状況を網羅的に調査した。

B－１．NDB特別抽出の申出

2025年４月にNDB第三者提供の申出を行い、６月の条件付き承諾、８月の条件解消を経て、2026年3月20日にデータ受領した。対象は2015年度から2024年度の、医療扶助（公費負担者番号の法別番号12）のレセプト（以下「医療扶助レセプト」という。）とした。ただし医療保険と医療扶助の移行もみるため、2015年度は2016年度の医療扶助レセプトに含まれるID2の全レセプトも対象とした。また、2024年度は2023年度の医療扶助レセプトに含まれるID2の全レセプトも対象とした。主な抽出対象データはRE/IR/KO/HO/SI/IYレコードで、適宜粒度を下げる対応を行った。また、2023年度以降の死亡情報と訪問看護レセプトも対象とした。ここでは各データ量を示す。

B－２．NDBオープンデータの集計

第10回NDBオープンデータ（令和５年度診療分対象）にはNDBに格納された全データの集計表と、そこから全額公費が除かれた集計表が公表されている。本研究では、医科診療行為と処方薬を対象とし、「全額公費レセプトを含むデータ」と「全額公費レセプトを含まないデータ」の差分（全額公費レセプトデータ）を確認した。併せて、当該差分が全額公費レセプトを含むデータ（全データ）に占める割合を把握するため、以下の数式

により全額公費による算定回数割合（医科診療行為）および全額公費による処方数量割合（処方薬）を算出した。

（1）算定回数の全額公費割合（%）

$$\frac{A - B}{A} \times 100$$

A: 全額公費レセプトを含む算定回数（全データ）
B: 全額公費レセプトを含まない算定回数

（2）処方数量の全額公費割合（%）

$$\frac{C - D}{C} \times 100$$

C: 全額公費レセプトを含む処方数量（全データ）
D: 全額公費レセプトを含まない処方数量

次に、算定回数または処方数量の全額公費割合が高いコードの分布を把握した。具体的には、全額公費割合が 20%以上のコードを対象に、医科診療行為では章・部別に、処方薬では薬効分類別に集計した。併せて、各項目の対象コード数に占める割合を算出した。本分析における「対象コード数」とは、全額公費レセプトを含むデータおよび全額公費レセプトを含まないデータの双方に存在し、全額公費割合を算出可能であった診療行為コード数または医薬品コード数を指す。なお、生活保護受給者は日本全国の約 2%程度だが、本研究で閾値を 20%以上と設定した理由は下記のとおりである。生活保護受給した原因の上位に傷病が位置しており、臨床感覚として医療機関受診者の約 10%が医療扶助としても違和感はないが、20%以上は明らかに何か理由があると考えたためである。

なお、NDB オープンデータにおいて最小集計単位未満（医科診療行為では 10 未満、内服薬・外用薬では 1,000 未満、注射薬では 400 未満）だとマスク表示「-」となっている。全額公費割合を過大評価しないため、マスクされた集計値については、医科診療行為では 10、内服薬・外用薬では 1,000、注射薬では 400 を便宜的に代入した。そのうえで、全額公費による算定回数または処方数量、および全額公費割合を算出した。処方薬については、NDB オープンデータの公表仕様上、薬効分類等ごとに集計対象となる医薬品コード数に上限があるため、本分析における分析対象コード数は、NDB オープンデータ上で集計対象となり、割合を算出可能であった医薬品コード数として扱った。

本分析は、全額公費によるレセプトを対象とした探索的分析であり、医療扶助に限定したものではない点に留意する必要がある。全額公費に含まれる給付としては、医療扶助の他に、戦傷病者特別救援法に基づく療養の給付、原爆被爆者に対する援護に関する法律に基づく認定疾病医療など複数存在するが、いずれも全体に占めるレセプト割合としては非常に少なく、全額公費によるレセプトの多くは医療扶助であると推測される。

C．結果

NDB 特別抽出データの提供データのファイルサイズ等と、NDB オープンデータの集計結果を下記に記す。

C－1．NDB 特別抽出の申出

提供を受けた NDB データのファイル数等は表 1 に示す通りであった。ファイルサイズは CSV にて 1.02TB であった。

これを Microsoft SQL server Standard にインポートし、CCSI を用いてデータベース化を行った。

データベース化後のファイルサイズは160GBとなった。

表１　NDB特別抽出データのファイル数等

	点数表	ファイル数	レコード数
受領データ①	死亡情報	21	199,925
受領データ②	医科	96	682,452,282
	DPC	156	102,234,799
	歯科	96	52,417,541
	調剤	96	332,595,396
受領データ③	医科	96	727,762,895
	DPC	156	152,650,758
	歯科	96	55,477,766
	調剤	96	352,231,841
受領データ④	医科	768	5,534,196,002
	DPC	1248	950,533,048
	歯科	768	415,130,289
	調剤	768	2,715,975,064

Ｃ－２．NDBオープンデータの集計

NDBオープンデータを用いた本分析では、以下の結果が得られた。なお可読性の関係上、結果に一部考察も含めた。

（１）　医科診療行為（算定回数）

①　外来

全額公費割合が20%以上の診療行為コードの件数を部別に集計し、各部の対象コード数に占める割合を確認した。その結果、第2章「特掲診療料」の第8部「精神科専門療法」が77件と最も多く、同部の対象コード数141件の54.6%を占めた。次いで、第5部「投薬」および第10部「手術」が各3件であり、それぞれ対象コード数の18.8%、0.2%であった。また、第1章「基本診療料」の第1部「初・再診料」および第2章「特掲診療料」の第3部「検査」は各2件であり、それぞれ4.5%、0.1%であった（表2-1）。さらに、第8部「精神科専門療法」について分類コード・名称別に確認したところ、全額公費割合が20%以上の診療行為は、「I012 精神科訪問看護・指導料」が34件と最も多く、同分類の対象コード数47件の72.3%を占めた。次いで、「I002 通院・在宅精神療法」が22件であり、同分類49件の44.9%であった。また、「I016 精神科在宅患者支援管理料」は6件であり、同分類7件の85.7%を占めた（表2-2）。以上のとおり、外来の全額公費割合20%以上の診療行為は、精神科専門療法に集中し、その内訳では精神科訪問看護・指導料および通院・在宅精神療法が多かった。

②　入院

全額公費割合が20%以上の診療行為コードの件数を部別に集計し、各部の対象コード数に占める割合を確認した。その結果、第1章「基本診療料」の第2部「入院料等」が37件と最も多く、同部の対象コード数859件の4.3%を占めた。次いで、第2章「特掲診療料」の第8部「精神科専門療法」が9件であり、同部の対象コード数39件の23.1%を占めた（表3-1）。さらに、第2部「入院料等」について分類コード・名称別に確認したところ、「A101 療養病棟入院基本料」が14件と最も多く、次いで「A109 有床診療所療養病床入院基本料」および「A300 救命救急入院料」が各5件、「A308-3 地域包括ケア病棟入院料」が4件であった(表3-2)。以上のとおり、入院の全額公費割合20%以上の診療行為は、コード

数では第 2 部「入院料等」が多かった一方、対象コード数に占める割合では、第 8 部「精神科専門療法」が相対的に高かった。

③ その他（短期滞在手術・在宅医療）

NDB オープンデータにおいて外来・入院区分ではなく全体区分として公表されている診療行為（短期滞在手術および在宅医療）について確認した。全額公費割合が 20%以上の診療行為は第 2 章「特掲診療料」第 2 部「在宅医療」の 38 件であり、対象コード数 231 件の 16.5%を占めた（表 4-1）。分類コード・名称別では、「C002 在宅時医学総合管理料」が 16 件と最も多く、同分類 55 件の 29.1%であった。次いで、「C002-2 施設入居時等医学総合管理料」が 10 件、同分類 60 件の 16.7%、「C005-1-2 同一建物居住者訪問看護・指導料」が 6 件、同分類 14 件の 42.9%であった（表 4-2）なお、第１章「基本診療料」第２部「入院料等」の「A400 短期滞在手術等基本料」では、全額公費割合が 20%以上の診療行為は確認されなかった。

（２） 処方薬（処方数量）

① 院内処方

全額公費割合が 20%以上の医薬品コードの件数を薬効分類別に集計し、各薬効分類の対象コード数に占める割合を確認した。内服薬については、医薬品コード数の多い順に「117 精神神経用剤」が 65 件（13.1%）、「112 催眠鎮静剤，抗不安剤」が 24 件（8.0%）と他の薬効分類と比較して突出していた（表 5-1）。そのため、これらの薬効分類「117 精神神経用剤」および「112 催眠鎮静剤，抗不安剤」を除いた全額公費による処方数量および割合を算出した結果を表 5-2 に示す。

外用薬については、医薬品コード数の多い順に「264 鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤」、が 4 件（0.8%）、「261 外皮用殺菌消毒剤」が 3 件（1.0%）であった（表 6-1）。全額公費による処方数量および割合を算出した結果を表 6-2 に示す。

注射薬については、医薬品コード数の多い順に「117 精神神経用剤」が 17 件（47.2%）、「313 ビタミンＢ剤（ビタミンＢ１剤を除く。）」が 7 件（11.5%）であった（表 7-1）。全額公費による処方数量および割合を算出した結果を表 7-2 に示す。

② 院外処方

全額公費割合が 20%以上の医薬品コードの件数を薬効分類別に集計し、各薬効分類の対象コード数に占める割合を確認した。

内服薬については、外来（院内）と同様に「117 精神神経用剤」が 71 件（14.3%）、「112 催眠鎮静剤，抗不安剤」が 34 件（11.4%）と他の薬効分類と比較して突出していた（表 8-1）。そのため、これらの薬効分類「117 精神神経用剤」および「112 催眠鎮静剤，抗不安剤」を除いた全額公費による処方数量および割合を算出した結果を表 8-2 に示す。

外用薬については、医薬品コード数の多い順に「264 鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤」、が 5 件（1.0%）、「821 合成麻薬」が 4 件（7.5%）、「261 外皮用殺菌消毒剤」が 2 件（0.7%）であった（表 9-1）。全額公費による処方数量および割合を算出した結果を表 9-2 に示す。

注射薬については、医薬品コード数の多い順に「331 血液代用剤」が 10 件（4.0%）、

「613 主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの」が 5 件（5.1%）、「325 たん白アミノ酸製剤」が 3 件（5.5%）、「342 腹膜透析用剤」が 3 件（3.0%）であった（表 10-1）。全額公費による処方数量および割合を算出した結果を表 10-2 に示す。

③ 入院処方

全額公費による処方数量割合が 20%以上の医薬品コードの件数を薬効分類別に集計し、各薬効分類の対象コード数に占める割合を確認した。

内服薬については、医薬品コード数の多い順に「117 精神神経用剤」が 121 件(24.4%)、「112 催眠鎮静剤,抗不安剤」が 71 件(23.8%)と他の薬効分類と比較して突出していた。次いで、「520 漢方製剤」が 53 件（10.7%）、「449 その他のアレルギー用薬」が 44 件（8.9%）であった（表 11-1）。そのため、これらの薬効分類「117 精神神経用剤」および「112 催眠鎮静剤，抗不安剤」を除いた全額公費による処方数量および割合を算出した結果を表 11-2 に示す。

外用薬については、医薬品コード数の多い順に「264 鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤」が 19 件（3.8%）と最も多く、次いで「269 その他の外皮用薬」および「265 寄生性皮ふ疾患用剤」が各 5 件、それぞれ 7.2%、5.6%であった。また、「712 軟膏基剤」は 4 件（5.1%）であった（表 12-1）。全額公費による処方数量および割合を算出した結果を表 12-2 に示す。

注射薬については、医薬品コード数の多い順に「117 精神神経用剤」が 14 件(38.9%)と最も多く、次いで「342 腹膜透析用剤」が 4 件（4.0%）、「333 血液凝固阻止剤」および「219 その他の循環器官用薬」が各 3 件、それぞれ 3.1%、3.0%であった（表 13-1）。全額公費による処方数量および割合を算出した結果を表 13-2 に示す。

以上のとおり、入院の処方薬では、内服薬および注射薬において「117 精神神経用剤」が上位を占めており、外来と同様に精神科関連薬剤が多い傾向がみられた。一方、外用薬では「264 鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤」が上位を占めており、剤形によって全額公費による処方数量割合が高い医薬品の分布は異なっていた。

D．考察

今年度は、NDB 第三者提供の申出・データ提供を受けたとともに、NDB 特別抽出データの分析に先立ち、第 10 回 NDB オープンデータを用いて全額公費による医科診療行為および処方薬について探索的に分析した。

医科診療行為では、全額公費割合が 20%以上であった診療行為コード数について、外来では第 8 部「精神科専門療法」に集中していた。特に、「I012 精神科訪問看護・指導料」および「I002 通院・在宅精神療法」が多く、全額公費による外来診療行為において、通院・在宅・訪問を含む精神科外来医療に関連するコードが一定の比重を占めている可能性が示唆された。入院では第 2 部「入院料等」が多く、その内訳では「A101 療養病棟入院基本料」、「A109 有床診療所療養病床入院基本料」が含まれていた。一方で、対象コード数に占める割合では、第 8 部「精神科専門療法」が相対的に高く、入院においても精神科関連の診療行為コードが確認された。

処方薬では、全額公費割合が 20%以上の医薬品コード数として、内服薬では外来（院内・院外）および入院のいずれにおいても、「117 精神神経用剤」および「112 催眠鎮静剤，抗不安剤」が他の薬効分類と比較して多い傾向が示された。

外用薬では、外来（院内・院外）および入院のいずれにおいても、「264 鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤」が最も多かった。そのほか、外来（院外）においては、「821 合成麻薬」も上位に含まれており、一部異なる傾向がみられた。

注射薬では、外来（院内）および入院では「117 精神神経用剤」が最も多かった。一方、外来（院外）では「331 血液代用剤」が最も多く、区分によって異なる傾向がみられた。

さらに、処方数量の観点でも、外来および入院のいずれにおいても内服薬（「錠」単位のみ）の最上位は「117 精神神経用剤」であった。これは、医科診療行為において精神科専門療法が多く確認された結果と整合的であり、全額公費レセプトにおいて、精神科医療および精神科関連薬剤が一定の比重を占めている可能性を示すものと考えられる。

ただし、本分析は NDB オープンデータにおける全額公費レセプトを対象とした探索的分析であり、医療扶助に限定したものではない点に留意が必要である。

以上の結果から、全額公費レセプトにおいては、精神科医療や在宅医療など一定期間にわたり継続的な医療提供を要する可能性のある領域が把握される可能性が示された。特に、医科診療行為と処方薬の双方で精神科関連コードが確認されたことから、今後 NDB を用いて医療扶助受給者の医療実態を詳細に把握する際には、精神疾患の有病状況、精神科医療の受療状況、精神科関連薬剤の処方実態を、患者属性や受療・処方の継続性等と組み合わせて分析することが必要と考えられる。また、在宅医療についても、在宅時医学総合管理料、施設入居時等医学総合管理料、訪問看護・指導料等が確認されたことから、患者属性や受療の継続性、長期療養等との関連を含めて検討することが必要と考えられる。

E．結論

今年度の NDB オープンデータを用いた分析は、医療扶助受給者の疾病構造、受療状況および処方動向等の医療実態を直接示すものではないものの、今後 NDB を用いた詳細分析を行う際の探索的な基礎資料として位置づけられる。

今後は医療扶助受給者に対象を絞り、患者数や医療費の推移、患者属性や併存疾患の状況、精神科や在宅医療を含む受療状況・処方動向、地域差等の医療実態について粗集計・クロス集計を行い、患者追跡分析を実施する予定である。これらの分析を通じて、被保護者の健康課題や、優先的に取り組むべき保健事業等の論点を明らかにしていく。

Ｆ．健康危険情報

該当なし

Ｇ．研究発表

該当なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

１．特許取得

該当なし

２．実用新案登録

該当なし

３．その他

該当なし

表 2-1. 外来における全額公費割合 20%以上の診療行為コード数および対象コード数に占める割合

章	部	全額公費割合 20%以上のコード数	対象コード数	割合
第 1 章 基本診療料	第 1 部 初・再診料	2	44	4.5%
	第 2 部 入院料等	-	-	-
第 2 章 特掲診療料	第 1 部 医学管理等	1	197	0.5%
	第 2 部 在宅医療	-	-	-
	第 3 部 検査	2	1,423	0.1%
	第 4 部 画像診断	0	163	0.0%
	第 5 部 投薬	3	16	18.8%
	第 6 部 注射	0	42	0.0%
	第 7 部 リハビリテーション	0	42	0.0%
	第 8 部 精神科専門療法	77	141	54.6%
	第 9 部 処置	0	360	0.0%
	第 10 部 手術	3	1,333	0.2%
	第 11 部 麻酔	0	128	0.0%
	第 12 部 放射線治療	0	49	0.0%
	第 13 部 病理診断	0	32	0.0%
計		88	3,970	2.2%

表 2-2. 外来の第８部「精神科専門療法」における全額公費割合 20%以上の診療行為コード数および対象コード数に占める割合

分類コード・名称	全額公費割合 20%以上のコード数	対象コード数	割合
I012 精神科訪問看護・指導料	34	47	72.3%
I002 通院・在宅精神療法	22	49	44.9%
I016 精神科在宅患者支援管理料	6	7	85.7%
I009 精神科デイ・ケア	4	6	66.7%
I006-2 依存症集団療法	2	3	66.7%
I010 精神科ナイト・ケア	2	2	100.0%
I010-2 精神科デイ・ナイト・ケア	2	2	100.0%
I002-2 精神科継続外来支援・指導料	1	2	50.0%
I008-2 精神科ショート・ケア	1	2	50.0%
I013 抗精神病特定薬剤治療指導管理料	1	2	50.0%
I007 精神科作業療法	1	1	100.0%
I012-2 精神科訪問看護指示料	1	1	100.0%

表 3-1. 入院における全額公費割合 20%以上の診療行為コード数および対象コード数に占める割合

章	部	全額公費割合 20%以上のコード数	対象コード数	割合
第 1 章 基本診療料	第 1 部 初・再診料	0	11	0.0%
	第 2 部 入院料等	37	859	4.3%
第 2 章 特掲診療料	第 1 部 医学管理等	0	126	0.0%
	第 2 部 在宅医療	-	-	-
	第 3 部 検査	4	1,440	0.3%
	第 4 部 画像診断	0	158	0.0%
	第 5 部 投薬	0	12	0.0%
	第 6 部 注射	1	42	2.4%
	第 7 部 リハビリテーション	1	58	1.7%
	第 8 部 精神科専門療法	9	39	23.1%
	第 9 部 処置	2	384	0.5%
	第 10 部 手術	1	2,642	0.0%
	第 11 部 麻酔	0	127	0.0%
	第 12 部 放射線治療	0	57	0.0%
	第 13 部 病理診断	0	32	0.0%
計		55	5,987	0.9%

表 3-2. 入院の第２部「入院料等」における全額公費割合 20%以上の診療行為コード数および対象コード数に占める割合

分類コード・名称	全額公費割合 20%以上のコード数	対象コード数	割合
A101 療養病棟入院基本料	14	57	24.6%
A109 有床診療所療養病床入院基本料	5	21	23.8%
A300 救命救急入院料	5	152	3.3%
A308-3 地域包括ケア病棟入院料	4	64	6.3%
A100 一般病棟入院基本料	2	45	4.4%
A103 精神病棟入院基本料	2	11	18.2%
A309 特殊疾患病棟入院料	2	10	20.0%
A102 結核病棟入院基本料	1	6	16.7%
A301 特定集中治療室管理料	1	124	0.8%
A500 看護職員処遇改善評価料	1	120	0.8%

表 4-1. その他（短期滞在手術･在宅医療）における全額公費割合 20%以上の診療行為コード数および対象コード数に占める割合

章	部	全額公費割合 20%以上のコード数	対象コード数	割合
第 1 章 基本診療料	第 2 部 入院料等	0	102	0.0%
第 2 章 特掲診療料	第 2 部 在宅医療	38	231	16.5%

表 4-2. その他の第２章「特掲診療料」第２部「在宅医療」における全額公費割合 20%以上の診療行為コード数および対象コード数に占める割合

分類コード･名称	全額公費割合 20%以上のコード数	対象コード数	割合
C002 在宅時医学総合管理料	16	55	29.1%
C002-2 施設入居時等医学総合管理料	10	60	16.7%
C005-1-2 同一建物居住者訪問看護･指導料	6	14	42.9%
C008 在宅患者訪問薬剤管理指導料	3	3	100.0%
C001 在宅患者訪問診療料（1）	1	4	25.0%
C010 在宅患者連携指導料	1	1	100.0%
C009 在宅患者訪問栄養食事指導料	1	6	16.7%

表 5-1. 院内処方（内服薬）における全額公費割合 20%以上の医薬品コード数および対象コード数に占める割合

薬効分類･名称	医薬品コード数	対象コード数	割合
117 精神神経用剤	65	496	13.1%
112 催眠鎮静剤，抗不安剤	24	299	8.0%
510 生薬	3	500	0.6%
625 抗ウイルス剤	3	100	3.0%
119 その他の中枢神経系用薬	2	299	0.7%
259 その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬	2	299	0.7%
116 抗パーキンソン剤	2	99	2.0%
235 下剤，浣腸剤	2	67	3.0%
225 気管支拡張剤	2	66	3.0%
441 抗ヒスタミン剤	2	59	3.4%
821 合成麻薬	2	13	15.4%
393 習慣性中毒用剤	2	2	100.0%
399 他に分類されない代謝性医薬品	1	299	0.3%
234 制酸剤	1	91	1.1%
311 ビタミンＡ及びＤ剤	1	82	1.2%
811 あへんアルカロイド系麻薬	1	71	1.4%
233 健胃消化剤	1	69	1.4%
392 解毒剤	1	44	2.3%
333 血液凝固阻止剤	1	39	2.6%
714 矯味，矯臭，着色剤	1	37	2.7%
322 無機質製剤	1	37	2.7%
711 賦形剤	1	22	4.5%
321 カルシウム剤	1	17	5.9%
314 ビタミンＣ剤	1	9	11.1%

表 5-2. 院内処方（内服薬）における全額公費による処方数量および割合（全額公費割合 20%以上）

薬効分類･名称	医薬品コード･名称	(C) 公費含む 処方数量	(D) 公費含まない 処方数量	(C)-(D) 全額公費 処方数量	(C)-(D) ÷(C)× 100 全額公費 割合
399 他に分類されない代謝性医薬品	622952001 レボカルニチンＦＦ錠２５０ｍｇ「アメル」	9,515	3,695	5,820	61.2%
235 下剤，浣腸剤	620482233 ヒマシ油「日医工」	8,885	3,485	5,400	60.8%
392 解毒剤	622544201 ホリナート錠２５ｍｇ「トーワ」	1,974	1,134	840	42.6%
225 気管支拡張剤	622731200 テオフィリン１００ｍｇ徐放Ｕ錠	3,292	1,894	1,398	42.5%
235 下剤，浣腸剤	612350124 ヒマシ油「ニッコー」	5,460	3,240	2,220	40.7%
821 合成麻薬	622264901 イーフェンバッカル錠５０μｇ	4,425	2,807	1,618	36.6%
311 ビタミンＡ及びＤ剤	613990073 チガソンカプセル２５　２５ｍｇ	5,512	3,512	2,000	36.3%
714 矯味，矯臭，着色剤	621174128 クエン酸「日医工」	5,057	3,524	1,533	30.3%
811 あへんアルカロイド系麻薬	620008346 モルヒネ塩酸塩水和物「第一三共」原末	1,861	1,324	538	28.9%
393 習慣性中毒用剤	620008676 ノックビン原末	98,341	72,076	26,266	26.7%
510 生薬	622222801 ウチダの修治ブシＭ	4,418	3,282	1,136	25.7%
116 抗パーキンソン剤	620119903 トリヘキシフェニジル塩酸塩錠２ｍｇ「アメル」	100,245	74,705	25,540	25.5%
333 血液凝固阻止剤	622449101 イグザレルト細粒分包１０ｍｇ	1,463	1,093	370	25.3%
393 習慣性中毒用剤	621320701 シアナマイド内用液１%「タナベ」	2,045,389	1,537,592	507,797	24.8%
510 生薬	620961305 高砂クコシＭ	239,488	180,898	58,590	24.5%
441 抗ヒスタミン剤	610453100 ヒベルナ糖衣錠２５ｍｇ	3,610,610	2,750,966	859,644	23.8%
233 健胃消化剤	620000645 センブリ･重曹散　シオエ	4,813	3,675	1,138	23.6%
225 気管支拡張剤	622731100 テオフィリン４００ｍｇ徐放Ｕ錠	3,189	2,447	742	23.3%
119 その他の中枢神経系用薬	622916901 ジスバルカプセル４０ｍｇ	130,759	100,504	30,255	23.1%
625 抗ウイルス剤	621765701 カレトラ配合錠	68,848	53,400	15,448	22.4%
821 合成麻薬	622293601 アブストラル舌下錠２００μｇ	59,087	45,910	13,177	22.3%
510 生薬	620001012 花扇テンマ末Ｋ	4,554	3,540	1,014	22.3%
625 抗ウイルス剤	620004998 ザイアジェン錠３００ｍｇ	48,924	38,078	10,846	22.2%
322 無機質製剤	612130005 Ｋ．Ｃ．Ｌ．エリキシル（１０Ｗ／Ｖ%）　１０%	305,138	238,203	66,935	21.9%
625 抗ウイルス剤	620000425 エピビル錠１５０　１５０ｍｇ	33,742	26,380	7,362	21.8%
259 その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬	622736800 フラボキサート塩酸塩２００ｍｇ錠	17,990	14,098	3,892	21.6%
234 制酸剤	620476710 沈降炭酸カルシウム「コザカイ・Ｍ」	16,090	12,636	3,454	21.5%
711 賦形剤	617110001 カプセル	29,211	22,997	6,214	21.3%
321 カルシウム剤	610441038 リン酸水素カルシウム「エビス」	23,094	18,211	4,883	21.1%
441 抗ヒスタミン剤	611410121 ピレチア錠（２５ｍｇ）	2,626,927	2,079,721	547,206	20.8%
314 ビタミンＣ剤	613140025 ビタミンＣ散「フソー」－１００ｍｇ　１０%	72,246	57,200	15,046	20.8%
116 抗パーキンソン剤	620118203 ビペリデン塩酸塩錠２ｍｇ「サワイ」	1,251,538	991,764	259,774	20.8%
119 その他の中枢神経系用薬	622243701 レグテクト錠３３３ｍｇ	4,395,323	3,489,059	906,264	20.6%
259 その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬	622614700 ナフトピジル２５ｍｇ錠	6,001	4,788	1,213	20.2%

※薬効分類「117 精神神経用剤」および「112 催眠鎮静剤, 抗不安剤」を除く。

表 6-1. 院内処方（外用薬）における全額公費割合 20%以上の医薬品コード数および対象コード数に占める割合

薬効分類･名称	医薬品コード数	対象コード数	割合
264 鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤	4	500	0.8%
261 外皮用殺菌消毒剤	3	301	1.0%
132 耳鼻科用剤	1	98	1.0%
225 気管支拡張剤	1	87	1.1%
235 下剤，浣腸剤	1	54	1.9%

表 6-2. 院内処方（外用薬）における全額公費による処方数量および割合（全額公費割合 20%以上）

薬効分類･名称	医薬品コード･名称	(C) 公費含む 処方数量	(D) 公費含まない 処方数量	(C)-(D) 全額公費 処方数量	(C)-(D)÷(C)×100 全額公費 割合
235 下剤，浣腸剤	620001405 グリセリン「司生堂」	9,125	3,245	5,880	64.4%
264 鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤	622779000 インドメタシン１％液	2,220	1,140	1,080	48.6%
261 外皮用殺菌消毒剤	620594801 消毒用アルコール配合液「ＮＰ」	2,512	1,312	1,200	47.8%
261 外皮用殺菌消毒剤	620578101 イソプロパノール消毒液７０％「シオエ」	7,140	4,040	3,100	43.4%
132 耳鼻科用剤	622619300 オフロキサシン３ｍｇ１ｍＬ点耳液	1,998	1,319	679	34.0%
264 鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤	622779200 ケトプロフェン（３０ｍｇ）１０ｃｍ×１４ｃｍ貼付剤	1,837	1,220	617	33.6%
264 鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤	622779300 ケトプロフェン（２０ｍｇ）７ｃｍ×１０ｃｍ貼付剤	60,411	44,430	15,981	26.5%
261 外皮用殺菌消毒剤	622775400 イソプロパノール７０％液	7,688	5,788	1,900	24.7%
225 気管支拡張剤	662220006 アスプール液（０．５％）	5,858	4,581	1,277	21.8%
264 鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤	622238801 ロキソプロフェンＮａテープ１００ｍｇ「アメル」 １０×１４ｃｍ	284,672	224,875	59,797	21.0%

表 7-1. 院内処方（注射薬）における全額公費割合 20%以上の医薬品コード数および対象コード数に占める割合

薬効分類･名称	医薬品コード数	対象コード数	割合
117 精神神経用剤	17	36	47.2%
313 ビタミンＢ剤（ビタミンＢ１剤を除く。）	7	61	11.5%
333 血液凝固阻止剤	3	97	3.1%
211 強心剤	3	81	3.7%
399 他に分類されない代謝性医薬品	2	299	0.7%
219 その他の循環器官用薬	2	96	2.1%
322 無機質製剤	2	23	8.7%
441 抗ヒスタミン剤	2	12	16.7%
116 抗パーキンソン剤	2	6	33.3%
342 腹膜透析用剤	1	100	1.0%
249 その他のホルモン剤（抗ホルモン剤を含む。）	1	100	1.0%
323 糖類剤	1	99	1.0%
611 主としてグラム陽性菌に作用するもの	1	75	1.3%
217 血管拡張剤	1	65	1.5%
114 解熱鎮痛消炎剤	1	45	2.2%
341 人工腎臓透析用剤	1	40	2.5%
312 ビタミンＢ１剤	1	36	2.8%
111 全身麻酔剤	1	36	2.8%
722 機能検査用試薬	1	34	2.9%
314 ビタミンＣ剤	1	29	3.4%
617 主としてカビに作用するもの	1	16	6.3%
113 抗てんかん剤	1	11	9.1%

表 7-2. 院内処方（注射薬）における全額公費による処方数量および割合（全額公費割合 20%以上）

薬効分類･名称	医薬品コード･名称	(C) 公費含む 処方数量	(D) 公費含まない 処方数量	(C)-(D) 全額公費 処方数量	(C)-(D)÷(C)×100 全額公費割合
114 解熱鎮痛消炎剤	620003246 レペタン注０．３ｍｇ	2,622	665	1,957	74.6%
211 強心剤	621365323 ドブタミン点滴静注液１００ｍｇ「ＶＴＲＳ」	2,381	687	1,694	71.1%
249 その他のホルモン剤（抗ホルモン剤を含む。）	620553801 ジノプロスト注射液１０００μｇ「Ｆ」１ｍｇ１ｍＬ	4,899	2,538	2,361	48.2%
313 ビタミンＢ剤（ビタミンＢ１剤を除く。）	643130333 ビーシックス注「フソー」－１０ｍｇ	7,179	3,897	3,282	45.7%
313 ビタミンＢ剤（ビタミンＢ１剤を除く。）	620699101 パンテチン注２００ｍｇ「イセイ」	37,871	21,132	16,739	44.2%
399 他に分類されない代謝性医薬品	620888901 エルカトニン筋注１０単位「ＮＰ」１０エルカトニン単位１ｍＬ	1,076	656	420	39.0%
219 その他の循環器官用薬	621841301 グリセリン･果糖配合点滴静注「ＨＫ」５００ｍＬ	753	467	286	38.0%
312 ビタミンＢ１剤	622902100 フルスルチアミン塩酸塩５０ｍｇ２０ｍＬ注射液	2,553	1,584	969	38.0%
313 ビタミンＢ剤（ビタミンＢ１剤を除く。）	620704103 ピリドキシン塩酸塩注射液１０ｍｇ「日医工」	51,123	32,697	18,426	36.0%
722 機能検査用試薬	621194803 プロチレリン酒石酸塩注射液０．５ｍｇ「日医工」	1,347	901	446	33.1%
617 主としてカビに作用するもの	622810901 ミカファンギンＮａ点滴静注用５０ｍｇ「ニプロ」	1,483	1,002	481	32.4%
111 全身麻酔剤	622748100 プロポフォール５００ｍｇ５０ｍＬ注射液	685	465	219	32.0%
399 他に分類されない代謝性医薬品	622758600 ナファモスタットメシル酸塩１０ｍｇ注射用	1,419	969	450	31.7%
341 人工腎臓透析用剤	620007307 サブパック血液ろ過用補充液－Ｂｉ　１０１０ｍＬ	2,278	1,570	708	31.1%
441 抗ヒスタミン剤	620008904 ヒベルナ注２５ｍｇ　２．５％１ｍＬ	4,355	3,073	1,282	29.4%
116 抗パーキンソン剤	620118402 乳酸ビペリデン注５ｍｇ「ヨシトミ」０．５％１ｍＬ	21,831	15,507	6,324	29.0%
322 無機質製剤	620733701 Ｌ－アスパラギン酸Ｋ点滴静注液１０タイヨー　１７．１２％１０ｍＬ	702	499	203	28.9%
333 血液凝固阻止剤	621702702 ダルテパリンＮａ静注５千Ｕ／５ｍＬ「サワイ」５千低ヘパＩＵ	5,602	3,988	1,615	28.8%
314 ビタミンＣ剤	620712410 アスコルビン酸注１００ｍｇ「ＮＰ」	15,237	10,869	4,368	28.7%
117 精神神経用剤	621905401 リスパダール　コンスタ筋注用５０ｍｇ（懸濁用液付）	55,131	39,481	15,650	28.4%
117 精神神経用剤	621905201 リスパダール　コンスタ筋注用２５ｍｇ（懸濁用液付）	20,963	15,093	5,870	28.0%
313 ビタミンＢ剤（ビタミンＢ１剤を除く。）	620008367 シアノコバラミン注射液１ｍｇ「ツルハラ」	49,903	36,088	13,815	27.7%
117 精神神経用剤	622278701 ゼプリオン水懸筋注１５０ｍｇシリンジ	101,948	73,964	27,984	27.4%
342 腹膜透析用剤	621318101 ミッドペリックＬ２５０腹膜透析液　１Ｌ（排液用バッグ付）	5,153	3,749	1,404	27.2%
117 精神神経用剤	621905301 リスパダール　コンスタ筋注用３７．５ｍｇ　（懸濁用液付）	16,953	12,360	4,593	27.1%
117 精神神経用剤	640463138 レボトミン筋注２５ｍｇ　２．５％１ｍＬ	2,194	1,604	591	26.9%
117 精神神経用剤	622278601 ゼプリオン水懸筋注１００ｍｇシリンジ	75,525	55,338	20,187	26.7%

117 精神神経用剤	620159102 ハロペリドール注５ｍｇ「ヨシトミ」 ０．５％１ｍＬ	34,737	25,558	9,179	26.4%
117 精神神経用剤	641170048 ハロマンス注１００ｍｇ　１ｍＬ	88,014	65,189	22,826	25.9%
217 血管拡張剤	620331802 硝酸イソソルビド注５ｍｇ／５ｍＬ「タカタ」 ０．１％	1,002	747	256	25.5%
117 精神神経用剤	622278501 ゼプリオン水懸筋注７５ｍｇシリンジ	41,404	31,024	10,380	25.1%
117 精神神経用剤	622409701 エビリファイ持続性水懸筋注用４００ｍｇ （懸濁用液付）	19,366	14,608	4,758	24.6%
117 精神神経用剤	640463106 フルデカシン筋注２５ｍｇ　１ｍＬ	82,739	62,431	20,308	24.5%
117 精神神経用剤	622831201 ゼプリオンＴＲＩ水懸筋注５２５ｍｇシリンジ	5,237	3,966	1,271	24.3%
313 ビタミンＢ剤（ビタミンＢ１剤を除く。）	620695105 リボフラビン注射液１０ｍｇ「日医工」	56,654	43,133	13,521	23.9%
117 精神神経用剤	641170047 ハロマンス注５０ｍｇ　１ｍＬ	104,516	79,847	24,670	23.6%
116 抗パーキンソン剤	620005147 アキネトン注射液５ｍｇ　０．５％１ｍＬ	69,012	52,957	16,055	23.3%
323 糖類剤	643230011 キシリトール注射液　５％３００ｍＬ	3,162	2,428	734	23.2%
333 血液凝固阻止剤	621826402 ヘパリンナトリウム注１０万単位／１００ｍＬ「ＡＹ」 １０万単位	2,033	1,569	464	22.8%
117 精神神経用剤	622409901 エビリファイ持続性水懸筋注用４００ｍｇシリンジ	240,962	186,390	54,573	22.6%
113 抗てんかん剤	620000188 アレビアチン注２５０ｍｇ　５％５ｍＬ	1,517	1,175	342	22.5%
441 抗ヒスタミン剤	641410017 クロルフェニラミンマレイン酸塩注射液 ０．５％１ｍＬ	16,119	12,592	3,527	21.9%
313 ビタミンＢ剤（ビタミンＢ１剤を除く。）	620699802 パンテノール注２５０ｍｇ「ＫＣＣ」	5,243	4,115	1,128	21.5%
322 無機質製剤	620733703 Ｌ－アスパラギン酸Ｋ点滴静注液１０ＮＩＧ １７．１２％１０ｍＬ	3,909	3,069	840	21.5%
211 強心剤	620008827 ジプロフィリン注３００ｍｇ「イセイ」 １５％２ｍＬ	17,465	13,749	3,716	21.3%
117 精神神経用剤	620004746 ヒルナミン筋注２５ｍｇ　２．５％１ｍＬ	3,215	2,533	682	21.2%
219 その他の循環器官用薬	620006617 シチコリンＨ注０．５ｇ「ＫＮ」 ２５％２ｍＬ	1,172	929	243	20.7%
333 血液凝固阻止剤	621728101 ローヘパ透析用１５０単位／ｍＬシリンジ２０ｍＬ　３千低ヘパ単位	5,655	4,486	1,169	20.7%
611 主としてグラム陽性菌に作用するもの	620007432 ハベカシン注射液２００ｍｇ　４ｍＬ	1,025	815	210	20.5%
117 精神神経用剤	622278401 ゼプリオン水懸筋注５０ｍｇシリンジ	19,770	15,727	4,043	20.4%
117 精神神経用剤	622278301 ゼプリオン水懸筋注２５ｍｇシリンジ	7,747	6,166	1,581	20.4%
211 強心剤	621365314 ドブタミン塩酸塩点滴静注液１００ｍｇ「サワイ」	3,618	2,884	734	20.3%
313 ビタミンＢ剤（ビタミンＢ１剤を除く。）	643130339 ビーシックス注「フソー」－３０ｍｇ	1,359	1,085	274	20.2%

表 8-1. 院外処方（内服薬）における全額公費割合 20%以上の医薬品コード数および対象コード数に占める割合

薬効分類･名称	医薬品コード数	対象コード数	割合
117 精神神経用剤	71	495	14.3%
112 催眠鎮静剤，抗不安剤	34	299	11.4%
119 その他の中枢神経系用薬	2	299	0.7%
113 抗てんかん剤	3	100	3.0%
116 抗パーキンソン剤	2	100	2.0%
223 去たん剤	1	100	1.0%
234 制酸剤	1	92	1.1%
311 ビタミンＡ及びＤ剤	1	82	1.2%
811 あへんアルカロイド系麻薬	1	70	1.4%
235 下剤，浣腸剤	2	69	2.9%
225 気管支拡張剤	1	69	1.4%
441 抗ヒスタミン剤	3	60	5.0%
211 強心剤	2	58	3.4%
392 解毒剤	1	46	2.2%
422 代謝拮抗剤	1	39	2.6%
714 矯味，矯臭，着色剤	1	39	2.6%
711 賦形剤	1	20	5.0%
325 たん白アミノ酸製剤	1	19	5.3%
821 合成麻薬	2	14	14.3%
713 溶解剤	1	11	9.1%
290 その他の個々の器官系用医薬品	1	11	9.1%
312 ビタミンＢ１剤	1	11	9.1%
323 糖類剤	1	5	20.0%
393 習慣性中毒用剤	2	2	100.0%

表 8-2. 院外処方（内服薬）における全額公費による処方数量および割合（全額公費割合 20%以上）

薬効分類･名称	医薬品コード･名称	(C) 公費含む 処方数量	(D) 公費含まない 処方数量	(C)-(D) 全額公費 処方数量	(C)-(D)÷(C)×100 全額公費 割合
714 矯味，矯臭，着色剤	621174128 クエン酸「日医工」	10,640	3,109	7,531	70.8%
821 合成麻薬	622265201 イーフェンバッカル錠４００μｇ	7,341	3,022	4,319	58.8%
821 合成麻薬	622265101 イーフェンバッカル錠２００μｇ	29,176	14,817	14,359	49.2%
711 賦形剤	621168433 乳糖水和物（小堺）	3,785	1,969	1,816	48.0%
211 強心剤	620238701 モノフィリン錠１００ｍｇ	5,554	3,028	2,526	45.5%
713 溶解剤	621171730 精製水（サンケミファ）	56,099	30,871	25,228	45.0%
325 たん白アミノ酸製剤	622738500 イソロイシン・ロイシン・バリン４．５ｇ顆粒	2,484	1,392	1,092	44.0%
392 解毒剤	622739400 球形吸着炭細粒	5,668	3,262	2,406	42.4%
811 あへんアルカロイド系麻薬	620003167 パシーフカプセル１２０ｍｇ	4,562	2,661	1,901	41.7%
235 下剤，浣腸剤	612350033 ヒマシ油	124,694	81,861	42,833	34.4%
225 気管支拡張剤	622731100 テオフィリン４００ｍｇ徐放Ｕ錠	2,875	1,989	886	30.8%
290 その他の個々の器官系用医薬品	610461121 ガンマオリザノール２０%細粒	2,078	1,448	630	30.3%
323 糖類剤	613230008 ブドウ糖「ニッコー」	174,420	123,116	51,304	29.4%
211 強心剤	620004965 カルグート細粒５%	3,681	2,653	1,028	27.9%
441 抗ヒスタミン剤	611410121 ピレチア錠（２５ｍｇ）	18,444,274	13,478,971	4,965,303	26.9%
393 習慣性中毒用剤	620008676 ノックビン原末	465,968	344,079	121,888	26.2%
113 抗てんかん剤	620007134 ランドセン錠２ｍｇ	1,921,119	1,426,489	494,630	25.7%
235 下剤，浣腸剤	620000685 ヒマシ油（山善）	27,391	20,541	6,850	25.0%
311 ビタミンＡ及びＤ剤	610461014 アルファカルシドール１μｇ錠	150,176	112,834	37,342	24.9%
441 抗ヒスタミン剤	610453100 ヒベルナ糖衣錠２５ｍｇ	15,974,173	12,007,155	3,967,018	24.8%
223 去たん剤	622730300 アンブロキソール塩酸塩１．５%シロップ用	6,010	4,538	1,472	24.5%
393 習慣性中毒用剤	621320701 シアナマイド内用液１%「タナベ」	9,413,140	7,114,899	2,298,241	24.4%
234 制酸剤	612340021 乾燥水酸化アルミニウムゲル	4,508	3,447	1,061	23.5%
113 抗てんかん剤	620003656 リボトリール錠２ｍｇ	5,859,680	4,490,972	1,368,708	23.4%
119 その他の中枢神経系用薬	622916901 ジスバルカプセル４０ｍｇ	1,044,670	801,625	243,045	23.3%
422 代謝拮抗剤	614220012 スタラシドカプセル１００　１００ｍｇ	5,081	3,949	1,132	22.3%
116 抗パーキンソン剤	620118203 ビペリデン塩酸塩錠２ｍｇ「サワイ」	7,071,871	5,516,872	1,554,999	22.0%
113 抗てんかん剤	620007133 ランドセン錠１ｍｇ	10,419,219	8,136,100	2,283,119	21.9%
119 その他の中枢神経系用薬	622243701 レグテクト錠３３３ｍｇ	21,826,167	17,079,595	4,746,572	21.7%
116 抗パーキンソン剤	621218501 ビペリデン塩酸塩錠１ｍｇ「アメル」	50,872,578	39,928,782	10,943,797	21.5%
312 ビタミンＢ１剤	613120052 ベストン糖衣錠（２５ｍｇ）	615,303	486,473	128,830	20.9%
441 抗ヒスタミン剤	610453099 ヒベルナ糖衣錠５ｍｇ	3,495,364	2,787,303	708,062	20.3%
116 抗パーキンソン剤	620118102 ビペリデン塩酸塩錠１ｍｇ「ヨシトミ」	19,892,465	15,923,505	3,968,960	20.0%

※薬効分類「117 精神神経用剤」および「112 催眠鎮静剤，抗不安剤」を除く。

表 9-1. 院外処方（外用薬）における全額公費割合 20%以上の医薬品コード数および対象コード数に占める割合

薬効分類･名称	医薬品コード数	対象コード数	割合
264 鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤	5	499	1.0%
821 合成麻薬	4	53	7.5%
261 外皮用殺菌消毒剤	2	285	0.7%
712 軟膏基剤	1	88	1.1%
333 血液凝固阻止剤	1	37	2.7%

表 9-2. 院外処方（外用薬）における全額公費による処方数量および割合（全額公費割合 20%以上）

薬効分類･名称	医薬品コード･名称	(C) 公費含む 処方数量	(D) 公費含まない 処方数量	(C)-(D) 全額公費 処方数量	(C)-(D)÷(C)×100 全額公費 割合
333 血液凝固阻止剤	663330001 クエン酸ナトリウム水和物	6,755	1,948	4,807	71.2%
261 外皮用殺菌消毒剤	620007583 イソジンフィールド液１０％	6,910	2,410	4,500	65.1%
264 鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤	622778800 インドメタシン１％軟膏	2,940	1,840	1,100	37.4%
264 鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤	622779600 ケトプロフェン（１２０ｍｇ）１０ｃｍ×１４ｃｍ貼付剤	2,366	1,533	833	35.2%
821 合成麻薬	622697201 フェンタニルクエン酸塩１日用テープ８ｍｇ「テイコク」	4,894	3,304	1,590	32.5%
821 合成麻薬	622505201 フェンタニル１日用テープ３．４ｍｇ「明治」	6,170	4,423	1,747	28.3%
264 鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤	622778500 モメタゾンフランカルボン酸エステル０．１％軟膏	4,978	3,733	1,245	25.0%
264 鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤	622424001 ロキソプロフェンＮａ外用ポンプスプレー１％「ＴＣＫ」	126,200	98,100	28,100	22.3%
821 合成麻薬	622042101 ワンデュロパッチ３．４ｍｇ	32,982	25,674	7,308	22.2%
712 軟膏基剤	667120010 ツバキ油	6,580	5,140	1,440	21.9%
261 外皮用殺菌消毒剤	660422025 サテニジン液０．０５　０．０５％	92,000	72,000	20,000	21.7%
264 鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤	660463039 ラクール冷シップ	690,160	547,260	142,900	20.7%
821 合成麻薬	620007681 デュロテップＭＴパッチ１２．６ｍｇ	9,126	7,244	1,882	20.6%

表 10-1. 院外処方（注射薬）における全額公費割合 20%以上の医薬品コード数および対象コード数に占める割合

薬効分類･名称	医薬品コード数	対象コード数	割合
331 血液代用剤	10	252	4.0%
613 主としてグラム陽性･陰性菌に作用するもの	5	99	5.1%
325 たん白アミノ酸製剤	3	55	5.5%
342 腹膜透析用剤	3	100	3.0%
219 その他の循環器官用薬	2	26	7.7%
333 血液凝固阻止剤	2	56	3.6%

表 10-2. 院外処方（注射薬）における全額公費による処方数量および割合（全額公費割合 20%以上）

薬効分類･名称	医薬品コード･名称	(C) 公費含む 処方数量	(D) 公費含まない 処方数量	(C)-(D) 全額公費 処方数量	(C)-(D)÷(C)×100 全額公費割合
114 解熱鎮痛消炎剤	620004717 ノイロトロピン注射液３．６単位　３ｍＬ	1,809	565	1,244	68.8%
613 主としてグラム陽性･陰性菌に作用するもの	621952401 メロペネム点滴静注用０．５ｇ「ＮＰ」５００ｍｇ	2,259	1,031	1,228	54.4%
342 腹膜透析用剤	621505401 ペリセート４００Ｎ腹膜透析液　３Ｌ	2,004	963	1,041	51.9%
331 血液代用剤	643310330 ラクトリンゲルＭ注「フソー」　５００ｍＬ	869	491	378	43.5%
634 血液製剤類	622886001 コンファクトＦ静注用１０００単位　１，０００単位（溶解液付）	2,221	1,326	895	40.3%
323 糖類剤	620736119 ブドウ糖注射液５%「ＶＴＲＳ」　５００ｍＬ	880	537	343	39.0%
313 ビタミンＢ剤（ビタミンＢ１剤を除く。）	643130104 パントール注射液２５０ｍｇ	3,275	2,055	1,220	37.3%
232 消化性潰瘍用剤	622831301 ファモチジン静注液１０ｍｇ「サワイ」　１０ｍＬ	2,838	1,785	1,053	37.1%
322 無機質製剤	620733601 Ｌ－アスパラギン酸カリウム点滴１０ｍＥｑ日新１７．１２%１０ｍＬ	3,665	2,343	1,322	36.1%
325 たん白アミノ酸製剤	620007187 アミパレン輸液　３００ｍＬ	6,986	4,471	2,515	36.0%
342 腹膜透析用剤	620009184 ダイアニール－Ｎ　ＰＤ－４　２．５腹膜透析　１．５Ｌ排液バッグ付	1,690	1,085	605	35.8%
333 血液凝固阻止剤	621825802 ヘパリンナトリウム注１万単位／１０ｍＬ「ＡＹ」１０，０００単位	819	538	281	34.3%
219 その他の循環器官用薬	621976303 エポプロステノール静注用「ＮＩＧ」専用溶解用液　５０ｍＬ	2,120	1,398	722	34.1%
613 主としてグラム陽性･陰性菌に作用するもの	640462060 ペントシリン静注用２ｇバッグ　（生理食塩液１００ｍＬ付）	1,567	1,050	517	33.0%
331 血液代用剤	620007348 ソルデム３輸液　２００ｍＬ	869	586	283	32.6%
331 血液代用剤	643310328 ラクトリンゲル液"フソー"　５００ｍＬ	1,721	1,182	539	31.3%
325 たん白アミノ酸製剤	620007385 テルフィス点滴静注　５００ｍＬ	850	601	249	29.3%
219 その他の循環器官用薬	621976103 エポプロステノール静注用１．５ｍｇ「ＮＩＧ」	2,634	1,912	722	27.4%

333 血液凝固阻止剤	621544005 ヘパリンＮａロック用１０Ｕ／ｍＬシリンジ５ｍＬＮＩＧ ５０Ｕ	6,227	4,538	1,689	27.1%
325 たん白アミノ酸製剤	620007408 ネオパレン２号輸液 １５００ｍＬ	990	741	249	25.2%
613 主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	640443046 ファーストシン静注用１ｇバッグＳ （生理食塩液１００ｍＬ付）	1,687	1,265	422	25.0%
331 血液代用剤	643310157 ラクトリンゲル液"フソー" ５００ｍＬ	1,862	1,406	456	24.5%
331 血液代用剤	620006248 ソルアセトＤ輸液 ２５０ｍＬ	674	514	160	23.7%
249 その他のホルモン剤（抗ホルモン剤を含む。）	620008897 ノボリンＲ注 １００単位／ｍＬ	16,401	12,544	3,857	23.5%
331 血液代用剤	620006626 生理食塩液ＰＬ「フソー」 ５０ｍＬ	6,385	4,916	1,469	23.0%
331 血液代用剤	620007289 ＫＮ３号輸液 ５００ｍＬ	15,493	12,029	3,464	22.4%
331 血液代用剤	622791701 ソリューゲンＦ注 ５００ｍＬ	3,464	2,690	774	22.3%
613 主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	620007520 メロペン点滴用バイアル０．５ｇ ５００ｍｇ	1,992	1,549	443	22.2%
331 血液代用剤	620767310 生理食塩液「ＡＹ」 ５００ｍＬ	629	491	138	21.9%
331 血液代用剤	620007349 ソルデム３輸液 ５００ｍＬ	10,159	8,017	2,142	21.1%
342 腹膜透析用剤	620009178 ダイアニール－Ｎ ＰＤ－４ １．５腹膜透析液 ２．５Ｌ	5,052	4,004	1,048	20.7%
613 主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	620009588 メロペネム点滴静注用０．５ｇ「日医工」５００ｍｇ	507	405	102	20.1%
312 ビタミンＢ１剤	640454001 アリナミンＦ５注 ５ｍｇ	1,183	946	237	20.0%

表 11-1. 入院処方（内服薬）における全額公費割合 20%以上の医薬品コード数および対象コード数に占める割合

薬効分類･名称	医薬品コード数	対象コード数	割合
117 精神神経用剤	121	495	24.4%
112 催眠鎮静剤，抗不安剤	71	298	23.8%
520 漢方製剤	53	496	10.7%
449 その他のアレルギー用薬	44	492	8.9%
116 抗パーキンソン剤	16	99	16.2%
232 消化性潰瘍用剤	15	299	5.0%
217 血管拡張剤	14	298	4.7%
214 血圧降下剤	13	497	2.6%
259 その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬	12	299	4.0%
625 抗ウイルス剤	12	97	12.4%
119 その他の中枢神経系用薬	11	299	3.7%
396 糖尿病用剤	9	296	3.0%
218 高脂血症用剤	8	298	2.7%
113 抗てんかん剤	7	100	7.0%
399 他に分類されない代謝性医薬品	7	297	2.4%
225 気管支拡張剤	6	64	9.4%
441 抗ヒスタミン剤	5	58	8.6%
510 生薬	5	401	1.2%
629 その他の化学療法剤	4	65	6.2%
394 痛風治療剤	4	99	4.0%

表 11-2. 入院処方（内服薬）における全額公費による処方数量および割合（全額公費割合 20%以上）

薬効分類･名称	医薬品コード･名称	(C) 公費含む 処方数量	(D) 公費含まない 処方数量	(C)-(D) 全額公費 処方数量	(C)-(D)÷(C)×100 全額公費 割合
312 ビタミンＢ１剤	620681602 チアミンジスルフィド錠１０ｍｇ「ツルハラ」	7,584	1,158	6,426	84.7%
214 血圧降下剤	620349302 ニカルジピン塩酸塩錠２０ｍｇ「ツルハラ」	31,147	9,429	21,718	69.7%
520 漢方製剤	615101839 ＪＰＳ半夏厚朴湯エキス顆粒〔調剤用〕	3,963	1,200	2,763	69.7%
225 気管支拡張剤	622072101 テオフィリン徐放錠５０ｍｇ「日医工」	9,976	3,073	6,903	69.2%
218 高脂血症用剤	620338317 クロフィブラートカプセル２５０ｍｇ「ツルハラ」	9,883	3,126	6,757	68.4%
520 漢方製剤	620005335 クラシエ小柴胡湯エキス細粒	8,326	2,672	5,654	67.9%
520 漢方製剤	615101390 太虎堂の防風通聖散料エキス顆粒	5,702	2,362	3,340	58.6%
520 漢方製剤	615101383 太虎堂の小青竜湯エキス顆粒	2,441	1,154	1,288	52.7%
629 その他の化学療法剤	622747400 イトラコナゾール５０ｍｇ錠	3,299	1,561	1,738	52.7%
520 漢方製剤	615101842 ＪＰＳ防風通聖散料エキス顆粒〔調剤用〕	4,213	2,008	2,205	52.3%
520 漢方製剤	615101051 オースギ八味地黄丸料エキスＴ錠	12,660	6,108	6,552	51.8%
520 漢方製剤	615101663 オースギ十味敗毒湯エキスＧ	4,140	2,016	2,124	51.3%
214 血圧降下剤	612140075 カプトリル錠２５ｍｇ	35,105	17,263	17,842	50.8%
235 下剤，浣腸剤	620000685 ヒマシ油（山善）	4,875	2,535	2,340	48.0%
520 漢方製剤	615101246 コタロー半夏白朮天麻湯エキス細粒	18,949	10,237	8,712	46.0%
520 漢方製剤	615101247 コタロー白虎加人参湯エキス細粒	9,880	5,400	4,480	45.3%
520 漢方製剤	615101739 太虎堂の五苓散料エキス顆粒	5,115	2,823	2,292	44.8%
449 その他のアレルギー用薬	622792701 レボセチリジン塩酸塩錠５ｍｇ「ＴＣＫ」	16,656	9,266	7,390	44.4%
520 漢方製剤	620005334 クラシエ十味敗毒湯エキス細粒	14,863	8,417	6,446	43.4%
520 漢方製剤	615101784 テイコク防風通聖散エキス顆粒	4,695	2,670	2,025	43.1%
217 血管拡張剤	622727200 ニフェジピン１０ｍｇ徐放Ｌ錠	6,067	3,451	2,616	43.1%
520 漢方製剤	615101835 ＪＰＳ猪苓湯エキス顆粒〔調剤用〕	2,036	1,169	867	42.6%
713 溶解剤	621171726 精製水（東海製薬）	2,356	1,356	1,000	42.4%
449 その他のアレルギー用薬	620007989 エバスチン錠１０ｍｇ「トーワ」	4,329	2,508	1,821	42.1%
510 生薬	610408665 三和ダイオウ末	5,698	3,351	2,347	41.2%
614 主としてグラム陽性菌，マイコプラズマに作用するもの	620003922 クラリスロマイシン錠５０ｍｇ小児用「タイヨー」	9,852	5,804	4,048	41.1%
313 ビタミンＢ剤（ビタミンＢ１剤を除く。）	620696601 パンテチン錠３０ｍｇ「ツルハラ」	20,172	11,910	8,262	41.0%
520 漢方製剤	615101220 コタロー十全大補湯エキス細粒	3,458	2,056	1,403	40.6%
216 血管収縮剤	622201001 スマトリプタン錠５０ｍｇ「アメル」	1,782	1,060	722	40.5%

※薬効分類「117 精神神経用剤」および「112 催眠鎮静剤，抗不安剤」を除く。

表 12-1. 入院処方（外用薬）における全額公費割合 20%以上の医薬品コード数および対象コード数に占める割合

薬効分類･名称	医薬品コード数	対象コード数	割合
264 鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤	19	500	3.8%
269 その他の外皮用薬	5	69	7.2%
265 寄生性皮ふ疾患用剤	5	90	5.6%
712 軟膏基剤	4	78	5.1%
131 眼科用剤	3	484	0.6%
261 外皮用殺菌消毒剤	2	298	0.7%
799 他に分類されない治療を主目的としない医薬品	1	6	16.7%
132 耳鼻科用剤	1	93	1.1%
267 毛髪用剤（発毛剤，脱毛剤，染毛剤，養毛剤）	1	2	50.0%

表 12-2. 入院処方（外用薬）における全額公費割合による処方数量および割合（全額公費割合 20%以上）

薬効分類･名称	医薬品コード･名称	(C) 公費含む 処方数量	(D) 公費含まない 処方数量	(C)-(D) 全額公費 処方数量	(C)-(D)÷(C)×100 全額公費 割合
261 外皮用殺菌消毒剤	662610316 ５％グルコン酸クロルヘキシジン液「東海」	5,508	1,384	4,124	74.9%
264 鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤	620007686 デルマクリンクリーム１％	13,846	5,576	8,270	59.7%
264 鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤	621791702 モメタゾンフランカルボン酸エステルクリーム０．１%「ＭＹＫ」	3,244	1,639	1,605	49.5%
264 鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤	620007697 トプシムＥクリーム０．０５％	4,567	2,452	2,115	46.3%
264 鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤	622331300 デキサメタゾン０．１%軟膏	2,533	1,369	1,164	46.0%
264 鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤	622034301 カトレップテープ３５ｍｇ ７ｃｍ×１０ｃｍ	2,012	1,102	910	45.2%
269 その他の外皮用薬	622181801 タクロリムス軟膏０．１%「イワキ」	2,852	1,672	1,180	41.4%
265 寄生性皮ふ疾患用剤	620006528 ボレースプレー１％	1,790	1,220	570	31.8%
265 寄生性皮ふ疾患用剤	621705802 テルビナフィン塩酸塩外用液１%「ＭＹＫ」	3,683	2,513	1,170	31.8%
712 軟膏基剤	621169605 白色ワセリン（三恵）	12,318	8,409	3,909	31.7%
264 鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤	620007659 ゼムパックパップ７０ １０ｃｍ×１４ｃｍ	19,460	13,365	6,095	31.3%
799 他に分類されない治療を主目的としない医薬品	620003491 ニコチネルＴＴＳ２０ ３５ｍｇ２０ｃｍ２	1,495	1,034	461	30.8%
264 鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤	622443301 ケトプロフェンテープ４０ｍｇ「杏林」 １０ｃｍ×１４ｃｍ	47,781	33,271	14,510	30.4%
265 寄生性皮ふ疾患用剤	621996401 ラノコナゾール外用液１%「イワキ」	28,012	19,730	8,282	29.6%
712 軟膏基剤	621171203 マクロゴール１５００（日興製薬）	12,161	8,696	3,466	28.5%
264 鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤	621968501 ジクロフェナクナトリウムテープ３０ｍｇ「三和」 １０×１４ｃｍ	2,401	1,750	651	27.1%
264 鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤	622440402 フェルビナク外用ポンプスプレー３%「三笠」	5,940	4,340	1,600	26.9%
264 鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤	622778900 インドメタシン１%クリーム	3,738	2,743	995	26.6%

267 毛髪用剤（発毛剤，脱毛剤，染毛剤，養毛剤）	620666705 カルプロニウム塩化物外用液５%「ＣＨ」	9,641	7,100	2,541	26.4%
712 軟膏基剤	620001790 流動パラフィン「ケンエー」	29,405	21,662	7,743	26.3%
131 眼科用剤	621397301 オフロキサシン点眼液０．３%「わかもと」	6,503	4,799	1,704	26.2%
264 鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤	622238801 ロキソプロフェンＮａテープ１００ｍｇ「アメル」 １０×１４ｃｍ	2,081	1,561	520	25.0%
264 鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤	662640012 ｄｌ－カンフル	6,251	4,725	1,526	24.4%
264 鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤	622779300 ケトプロフェン（２０ｍｇ）７ｃｍ×１０ｃｍ貼付剤	11,109	8,515	2,594	23.4%
264 鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤	621981802 フェルビナクテープ３５ｍｇ「ＮＰ」 ７ｃｍ×１０ｃｍ	3,277	2,528	749	22.9%
269 その他の外皮用薬	620003869 ボンアルファハイローション２０μｇ／ｇ ０．００２%	1,729	1,339	390	22.6%
132 耳鼻科用剤	620231701 ケトチフェン点鼻液０．０５%「サワイ」 ６．０４８ｍｇ８ｍＬ	1,342	1,040	302	22.5%
264 鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤	620627001 ジフルプレドナートローション０．０５%「イワキ」	2,655	2,060	595	22.4%
261 外皮用殺菌消毒剤	662610383 エタノール「ヨシダ」	9,533	7,410	2,123	22.3%
265 寄生性皮ふ疾患用剤	620007606 エクセルダーム外用液１%	1,286	1,006	280	21.8%
269 その他の外皮用薬	621297701 ドボネックス軟膏５０μｇ／ｇ ０．００５%	33,860	26,577	7,282	21.5%
131 眼科用剤	622858701 エピナスチン塩酸塩点眼液０．０５%「サワイ」	1,339	1,053	285	21.3%
265 寄生性皮ふ疾患用剤	621704901 テルビナフィン塩酸塩クリーム１%「Ｆ」	161,278	127,112	34,166	21.2%
264 鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤	621957101 ジクロフェナクナトリウムテープ１５ｍｇ「ＮＰ」 ７ｃｍ×１０ｃｍ	34,575	27,334	7,241	20.9%
712 軟膏基剤	621169643 白色ワセリン（小堺）	146,639	115,991	30,648	20.9%
264 鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤	662640414 リンデロン－ＤＰクリーム ０．０６４%	21,724	17,218	4,506	20.7%
264 鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤	662640078 カンフル精（山善）	7,352	5,834	1,518	20.6%
269 その他の外皮用薬	622782200 精製白糖・ポビドンヨード軟膏	42,535	33,765	8,770	20.6%
264 鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤	621415301 ヤクバンテープ２０ｍｇ ７ｃｍ×１０ｃｍ	71,546	56,894	14,652	20.5%
131 眼科用剤	621397201 オフロキサシン点眼液０．３%「日点」	2,471	1,970	501	20.3%
269 その他の外皮用薬	622215901 マキサカルシトール軟膏２５μｇ／ｇ「イワキ」０．００２５%	9,913	7,908	2,005	20.2%

表 13-1. 入院処方（注射薬）における全額公費割合 20%以上の医薬品コード数および対象コード数に占める割合

薬効分類･名称	医薬品コード数	対象コード数	割合
117 精神神経用剤	14	36	38.9%
342 腹膜透析用剤	4	100	4.0%
333 血液凝固阻止剤	3	96	3.1%
219 その他の循環器官用薬	3	100	3.0%
399 他に分類されない代謝性医薬品	2	298	0.7%
392 解毒剤	2	66	3.0%
312 ビタミンＢ１剤	2	36	5.6%
612 主としてグラム陰性菌に作用するもの	1	30	3.3%
391 肝臓疾患用剤	1	19	5.3%
311 ビタミンＡ及びＤ剤	1	36	2.8%
325 たん白アミノ酸製剤	1	61	1.6%
116 抗パーキンソン剤	1	6	16.7%
331 血液代用剤	1	300	0.3%
232 消化性潰瘍用剤	1	37	2.7%
114 解熱鎮痛消炎剤	1	42	2.4%
323 糖類剤	1	99	1.0%

表 13-2. 入院処方（注射薬）における全額公費による処方数量および割合（全額公費割合 20%以上）

薬効分類･名称	医薬品コード･名称	(C) 公費含む 処方数量	(D) 公費含まない 処方数量	(C)-(D) 全額公費 処方数量	(C)-(D)÷(C)×100 全額公費 割合
342 腹膜透析用剤	621503301 ペリセート４００ＮＬ腹膜透析液　１Ｌ（排液用バッグ付）	780	416	364	46.7%
331 血液代用剤	620005681 ニソリM注　２５０ｍＬ	912	518	394	43.2%
391 肝臓疾患用剤	622367301 キョウミノチン静注ＰＬ　２０ｍＬ	166,063	102,827	63,236	38.1%
392 解毒剤	620005724 レボホリナート点滴静注用２５ｍｇ「ＢＴ」	838	522	316	37.7%
232 消化性潰瘍用剤	620431908 シメチジン注２００ｍｇ「イセイ」１０％２ｍＬ	5,801	4,065	1,736	29.9%
399 他に分類されない代謝性医薬品	622870701 ウパシタ静注透析用２００μｇシリンジ　１ｍＬ	912	647	265	29.1%
117 精神神経用剤	622409801 エビリファイ持続性水懸筋注用３００ｍｇシリンジ	3,037	2,163	874	28.8%
323 糖類剤	620735119 ブドウ糖注５%「ＣＭＸ」２０ｍＬ	20,538	14,890	5,649	27.5%
117 精神神経用剤	622831201 ゼプリオンＴＲＩ水懸筋注５２５ｍｇシリンジ	590	429	161	27.3%
114 解熱鎮痛消炎剤	620110202 ブプレノルフィン注０．３ｍｇ「日新」	4,483	3,311	1,172	26.1%
342 腹膜透析用剤	620008834 ステイセーフバランス　１／２．５　腹膜透析液　１．５Ｌ排液バッグ	633	471	162	25.6%

342 腹膜透析用剤	621503601 ペリセート４００ＮＬ腹膜透析液　３Ｌ	2,308	1,718	590	25.6%
117 精神神経用剤	622278701 ゼプリオン水懸筋注１５０ｍｇシリンジ	30,698	22,933	7,765	25.3%
116 抗パーキンソン剤	620118402 乳酸ビペリデン注５ｍｇ「ヨシトミ」 ０．５％１ｍＬ	40,270	30,103	10,167	25.2%
117 精神神経用剤	622278501 ゼプリオン水懸筋注７５ｍｇシリンジ	5,419	4,056	1,363	25.2%
117 精神神経用剤	622409701 エビリファイ持続性水懸筋注用４００ｍｇ（懸濁用液付）	799	601	198	24.8%
333 血液凝固阻止剤	622131401 ヘパフィルド透析用２００単位／ｍＬシリンジ２０ｍＬ　４千単位	44,759	33,770	10,989	24.6%
312 ビタミンＢ１剤	620680604 チアミン塩化物塩酸塩注射液５０ｍｇ「ツルハラ」	32,953	24,878	8,075	24.5%
117 精神神経用剤	622278401 ゼプリオン水懸筋注５０ｍｇシリンジ	1,954	1,485	469	24.0%
117 精神神経用剤	622278601 ゼプリオン水懸筋注１００ｍｇシリンジ	15,748	11,982	3,766	23.9%
117 精神神経用剤	641170048 ハロマンス注１００ｍｇ　１ｍＬ	22,000	16,774	5,226	23.8%
117 精神神経用剤	621905401 リスパダール コンスタ筋注用５０ｍｇ　（懸濁用液付）	12,489	9,524	2,965	23.7%
312 ビタミンＢ１剤	620680505 チアミン塩化物塩酸塩注２０ｍｇ「フソー」	29,565	22,613	6,952	23.5%
219 その他の循環器官用薬	622753600 アルプロスタジル１０μｇ２ｍＬ注射液	591	453	138	23.4%
117 精神神経用剤	640463106 フルデカシン筋注２５ｍｇ　１ｍＬ	22,217	17,091	5,126	23.1%
117 精神神経用剤	622409901 エビリファイ持続性水懸筋注用４００ｍｇシリンジ	32,618	25,165	7,453	22.8%
333 血液凝固阻止剤	621989402 パルナパリンＮａ透析２００Ｕ／ｍＬシリンジ２０ｍＬフソー　４千Ｕ	11,537	8,914	2,623	22.7%
117 精神神経用剤	640463138 レボトミン筋注２５ｍｇ　２．５％１ｍＬ	16,509	12,779	3,730	22.6%
219 その他の循環器官用薬	620361903 アルプロスタジルアルファデクス点滴静注用５００μｇ「タカタ」	7,998	6,203	1,795	22.4%
311 ビタミンＡ及びＤ剤	622471201 マキサカルシトール静注透析用１０μｇ「ニプロ」１ｍＬ	1,501	1,168	333	22.2%
325 たん白アミノ酸製剤	620007511 ミキシッドＨ輸液　９００ｍＬ	3,018	2,358	660	21.9%
612 主としてグラム陰性菌に作用するもの	646130274 アザクタム注射用０．５ｇ　５００ｍｇ	1,910	1,502	408	21.4%
117 精神神経用剤	622278301 ゼプリオン水懸筋注２５ｍｇシリンジ	548	431	117	21.4%
399 他に分類されない代謝性医薬品	622759700 オザグレルナトリウム４０ｍｇ注射用	516	406	110	21.3%
219 その他の循環器官用薬	622262402 エポプロステノール静注用０．５ｍｇ「ヤンセン」（溶解液付）	922	726	196	21.3%
117 精神神経用剤	641170047 ハロマンス注５０ｍｇ　１ｍＬ	21,447	16,896	4,551	21.2%
392 解毒剤	622374401 炭酸水素ナトリウム静注７％ＰＬ「イセイ」２０ｍＬ	7,162	5,674	1,488	20.8%
333 血液凝固阻止剤	621728201 ローヘパ透析用２００単位／ｍＬシリンジ２０ｍＬ　４千低ヘパ単位	131,129	104,025	27,103	20.7%
342 腹膜透析用剤	621633501 ミッドペリックＬ１３５腹膜透析液　２．５Ｌ（排液用バッグ付）	703	562	141	20.1%

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書　籍　名	出版社名	出版地	出版年	ページ
該当なし							

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
該当なし					

令和８年２月１３日

厚生労働大臣　　殿

機関名　浜松医科大学

所属研究機関長　職　名　学長

氏　名　渡 邉 裕 司

次の職員の令和７年度厚生労働行政推進調査事業費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

１．研究事業名　政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業）

２．研究課題名　匿名レセプト情報等を用いた被保護者の健康課題に関する実態把握と効果的な疾病予防・重症化予防等に資する研究

３．研究者名　（所属部署・職名）　健康社会医学講座　　准教授

（氏名・フリガナ）　明神大也（ミョウジン　トモヤ）

４．倫理審査の状況

	該当性の有無 有　無	左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
		審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	□　■	□		□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□　■	□		□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□　■	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること （指針の名称：　　）	□　■	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。
（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

５．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ■　　未受講 □

６．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ■　無 □（無の場合は委託先機関：　　）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 □　無 ■（有の場合はその内容：　　）

（留意事項）　・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和８年２月３日

厚生労働大臣　殿

機関名　公立大学法人奈良県立医科大学

所属研究機関長　職　名　理事長

氏　名　細井　裕司

次の職員の令和７年度厚生労働行政推進調査事業費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

１．研究事業名　政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業）

２．研究課題名　匿名レセプト情報等を用いた被保護者の健康課題に関する実態把握と効果的な疾病予防・重症化予防等に資する研究

３．研究者名　（所属部署・職名）　公衆衛生学講座・教授

（氏名・フリガナ）　今村　知明・イマムラ　トモアキ

４．倫理審査の状況

	該当性の有無 有　無	左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
		審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	□　■	□		□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□　■	□		□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□　■	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称：　　）	□　■	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

５．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ■　未受講 □

６．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ■　無 □（無の場合は委託先機関：　　）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 □　無 ■（有の場合はその内容：　　）

（留意事項）　・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和８年２月３日

厚生労働大臣　殿

機関名　公立大学法人奈良県立医科大学

所属研究機関長　職　名　理事長

氏　名　細井　裕司

次の職員の令和７年度厚生労働行政推進調査事業費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

１．研究事業名　政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業）

２．研究課題名　匿名レセプト情報等を用いた被保護者の健康課題に関する実態把握と効果的な疾病予防・重症化予防等に資する研究

３．研究者名　（所属部署・職名）　公衆衛生学講座・助教

（氏名・フリガナ）　山﨑　一幸・ヤマザキ　イッコウ

４．倫理審査の状況

	該当性の有無 有　無	左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
		審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	□　■	□		□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□　■	□		□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□　■	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称：　　）	□　■	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

５．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ■　未受講 □

６．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ■　無 □（無の場合は委託先機関：　　）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 □　無 ■（有の場合はその内容：　　）

（留意事項）　・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること